

# 特別賞に森の国(大山)

## エコツーリズム大賞

農作業や  
集落巡り

### 地域ぐるみでの観光評価



「エコツーリズム大賞」特別賞の表彰状を手にする森の国の伊沢大介社長

自然を味わう体験型観光「エコツーリズム」を大山周辺で展開する「森の国」

(大山町赤松)が、環境省などが主催する「第10回エコツーリズム大賞」の「特別賞」を受賞した。雄大な大山に抱かれながら四季を体感する新たな観光の形を

地域ぐるみで確立した点が評価された。

エコツーリズムは1990年代後半に提唱され始めた概念で、地域の自然や文化などをありのままの姿で楽しむ観光の形式を取る。78年設立の森の国は、大山のブナの森から海岸まで

の、信号が一つもない25キロの道のりを自転車で行く「ダウンヒル」を展開する。コース途中にある農家の協力を得て、田植えや稲刈り、ナシの選定作業などを見学するという趣向が、都市部や海外からの体験者の支持を集めている。

### 表彰状

第十四回エコツーリズム大賞  
特別賞

有限会社森の国 殿

あなたの取組は環境省及び観光庁より  
活動共日本エコツーリズム協会主催の  
第十四回エコツーリズム大賞において  
高く評価されました

平成二十七年二月二日

環境大臣 山内 義久